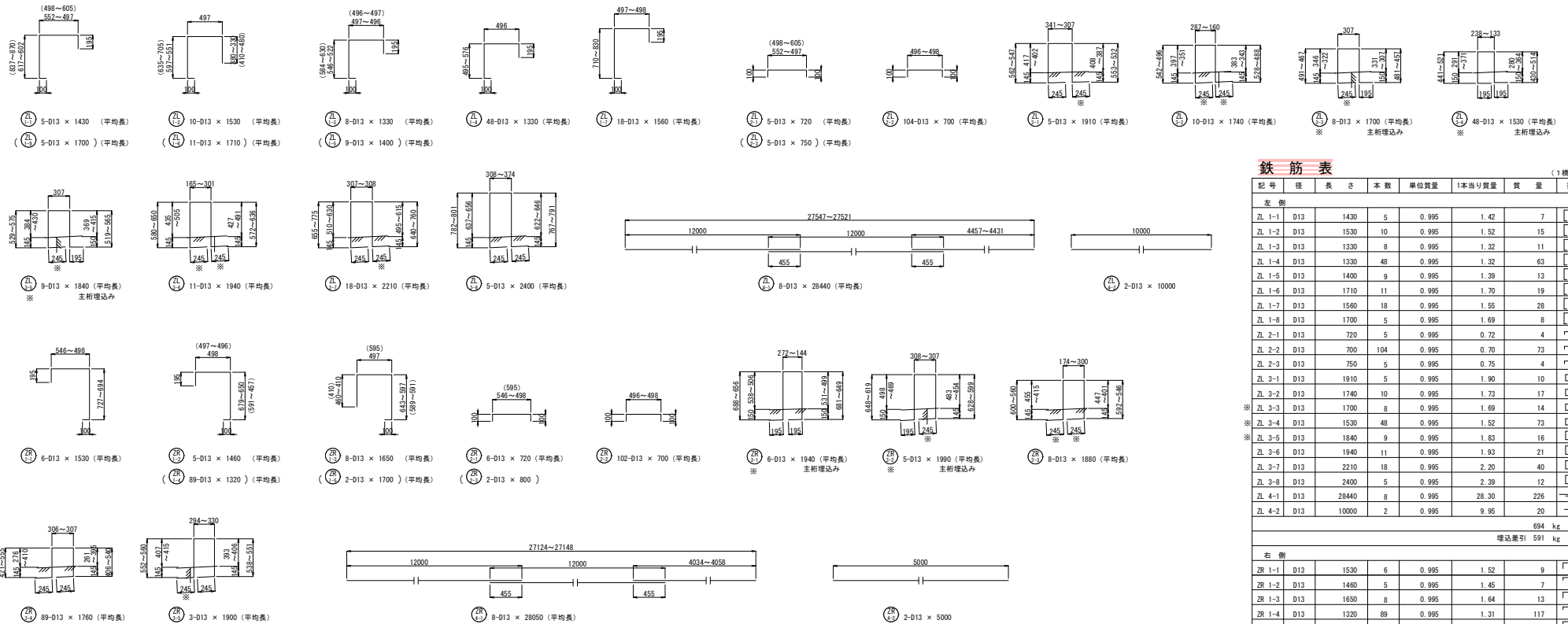
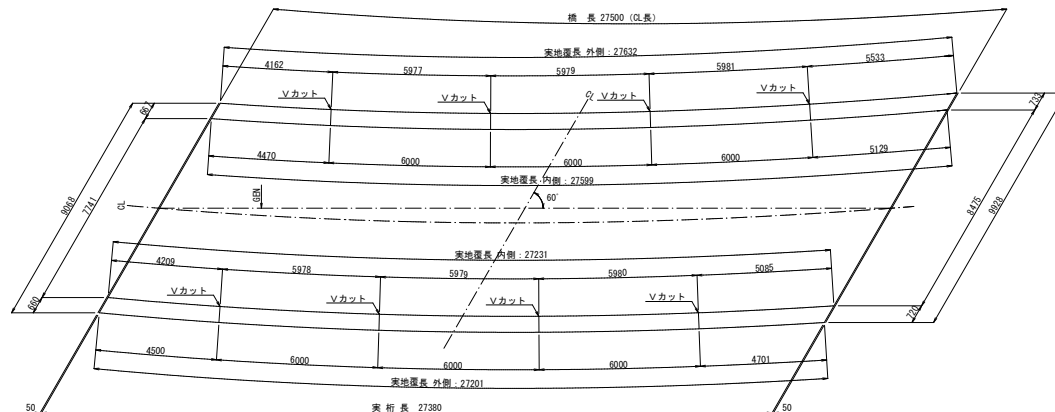


地 覆 配 筋 図 (その3)



V カット 配置図 S=1:10



鉄筋表

材 質 表					(1棟当り)		
記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	備 考
左 側							
ZL 1-1	D13	1430	5	0.995	1.42	7	□ 平均長
ZL 1-2	D13	1530	10	0.995	1.52	15	□ 平均長
ZL 1-3	D13	1330	8	0.995	1.32	11	□ 平均長
ZL 1-4	D13	1330	48	0.995	1.32	63	□ 平均長
ZL 1-5	D13	1400	9	0.995	1.39	13	□ 平均長
ZL 1-6	D13	1710	11	0.995	1.70	19	□ 平均長
ZL 1-7	D13	1560	18	0.995	1.55	28	□ 平均長
ZL 1-8	D13	1700	5	0.995	1.69	8	□ 平均長
ZL 2-1	D13	720	5	0.995	0.72	4	□ 平均長
ZL 2-2	D13	700	104	0.995	0.70	73	□ 平均長
ZL 2-3	D13	750	5	0.995	0.75	4	□ 平均長
ZL 3-1	D13	1910	5	0.995	1.90	10	□ 平均長
ZL 3-2	D13	1740	10	0.995	1.73	17	□ 平均長
ZL 3-3	D13	1700	8	0.995	1.69	14	□ 平均長
ZL 3-4	D13	1530	48	0.995	1.52	73	□ 平均長
ZL 3-5	D13	1840	9	0.995	1.83	16	□ 平均長
ZL 3-6	D13	1940	11	0.995	1.93	21	□ 平均長
ZL 3-7	D13	2210	18	0.995	2.20	40	□ 平均長
ZL 3-8	D13	2400	5	0.995	2.39	12	□ 平均長
ZL 4-1	D13	28440	8	0.995	28.30	226	□ 平均長
ZL 4-2	D13	10000	2	0.995	9.95	20	—
						694 kg	
埋込差引						591 kg	
右 側							
ZR 1-1	D13	1530	6	0.995	1.52	9	□ 平均長
ZR 1-2	D13	1460	5	0.995	1.45	7	□ 平均長
ZR 1-3	D13	1650	8	0.995	1.64	13	□ 平均長
ZR 1-4	D13	1320	89	0.995	1.31	117	□ 平均長
ZR 1-5	D13	1700	2	0.995	1.69	3	□ 平均長
ZR 2-1	D13	720	6	0.995	0.72	4	□ 平均長
ZR 2-2	D13	700	102	0.995	0.70	71	□ 平均長
ZR 2-3	D13	800	2	0.995	0.80	2	□ 平均長
ZR 3-1	D13	1940	6	0.995	1.93	12	□ 平均長
ZR 3-2	D13	1990	5	0.995	1.98	10	□ 平均長
ZR 3-3	D13	1880	8	0.995	1.87	15	□ 平均長
ZR 3-4	D13	1760	89	0.995	1.75	156	□ 平均長
ZR 3-5	D13	1900	3	0.995	1.89	6	□ 平均長
ZR 4-1	D13	28050	8	0.995	27.91	223	□ 平均長
ZR 4-2	D13	5000	2	0.995	4.98	10	—
						658 kg	
埋込差引						636 kg	
					S0345	D13	1352 kg
					1227 kg (埋込差引)		

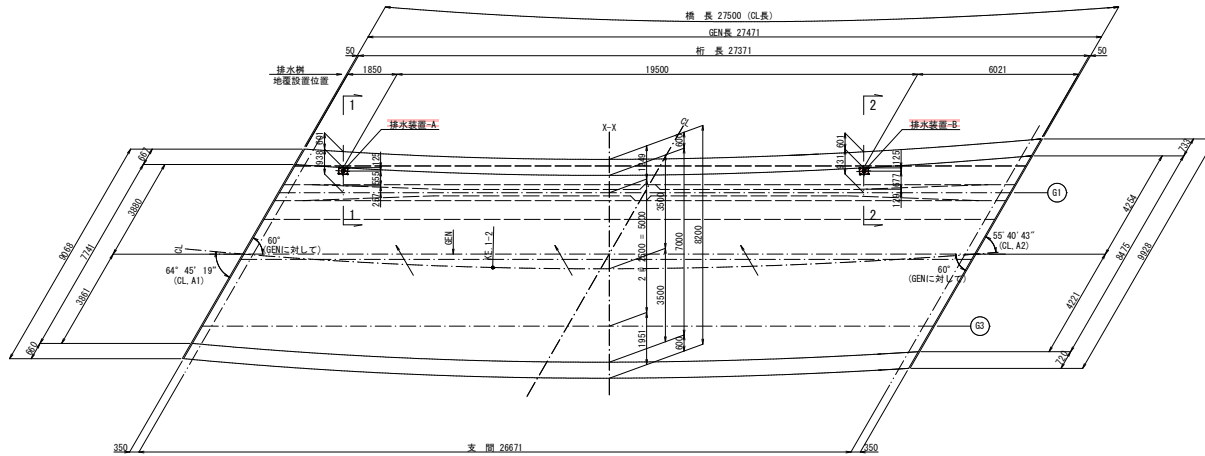
※析埋込鉄筋

実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	道路整備(交付金)工事(浦田R8-1工区)
河川・ 路線 名	一般県道 東郷山田宮之城線
工事箇所	薩摩川内市 東郷町 斧淵 内地
図面種類	地覆配筋図(その3)
縮 尺	図 示
図面番号	全 24 葉 第 17 号

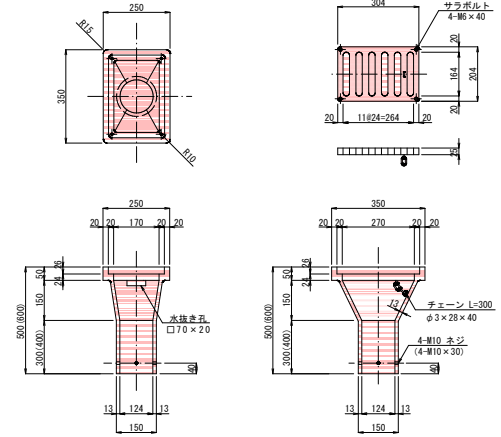
排水工詳細図

平面图 S=1:100



排水桷-A(B) S=1:10

N = 各1

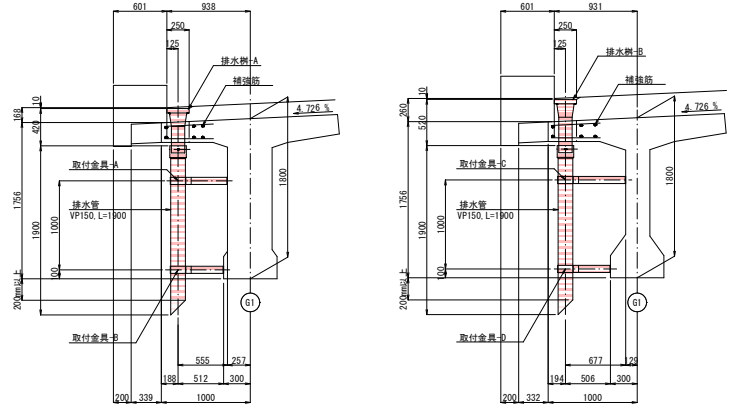


※ ふたは、ボルトによる取付けとする。

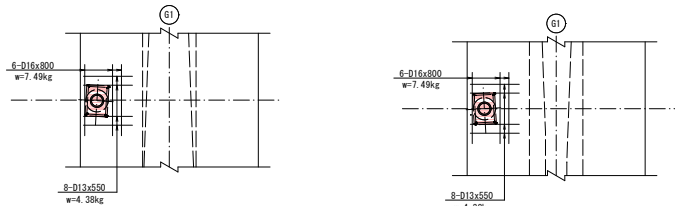
排水装置取付け詳細図 S=1:30

1 - 1

2 - 2



箱抜き補強筋 S=1:30



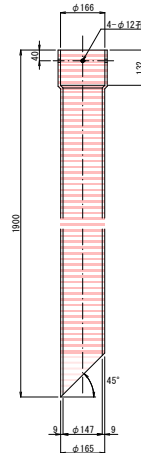
補強筋 SD345

- D16 $W = 7.49 + 7.49$
 $= 14.98 \text{ kg}$
- D13 $W = 4.38 + 4.38$
 $= 8.76 \text{ kg}$

※ 析埋込鉄筋

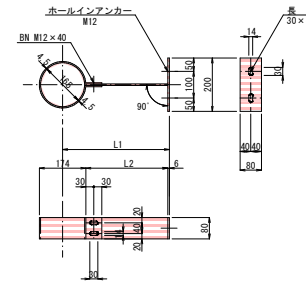
排水管 VP150 S=1:10

L=1900, N=2



取付金具 S=1:10

VP150用
(メッキ仕様)
N = 4



1 - PL80×6×200	0.75 kg
1 - PL80×6× L2	W1 kg
1 - PL80×4.5×647	1.83 kg
2 - BN M12×40	
2 - ホールインアンカー M12	
1個当り質量	W2 kg

タイプ	N	L 1	L 2	W 1	W 2
A	1	555	462	1.74	4.32
B	1	512	419	1.58	4.16
C	1	677	584	2.20	4.78
D	1	506	413	1.56	4.14
計	4			平均	4.35

排水樹材料表

符号	品 名	材 質	数量	質量(kg)		備 考
				タイプ-A	タイプ-B	
1	本 体	FC250	1	36.7	40.8	
2	目 皿	FC250	1	7.1	7.1	
3	チェーン	SS400	1	0.1	0.1	L=300 亜鉛メッキ
4	サラボルト	SUS304	4	0.2	0.2	
1組分合計				44.1 kg	48.2 kg	

材料表

名称	仕様	単位	数量	摘要
排水樹-A	FC250	個	1	W=44.1kg/組
排水樹-B	FC250	個	1	W=48.2kg/組
排水 管	VP150	本	2	L=1900
取付金具	VP150用	個	4	W=4.4kg/組(平均)
補 強 筋	D16	kg	15.0	
補 強 筋	D13	kg	8.8	

✧

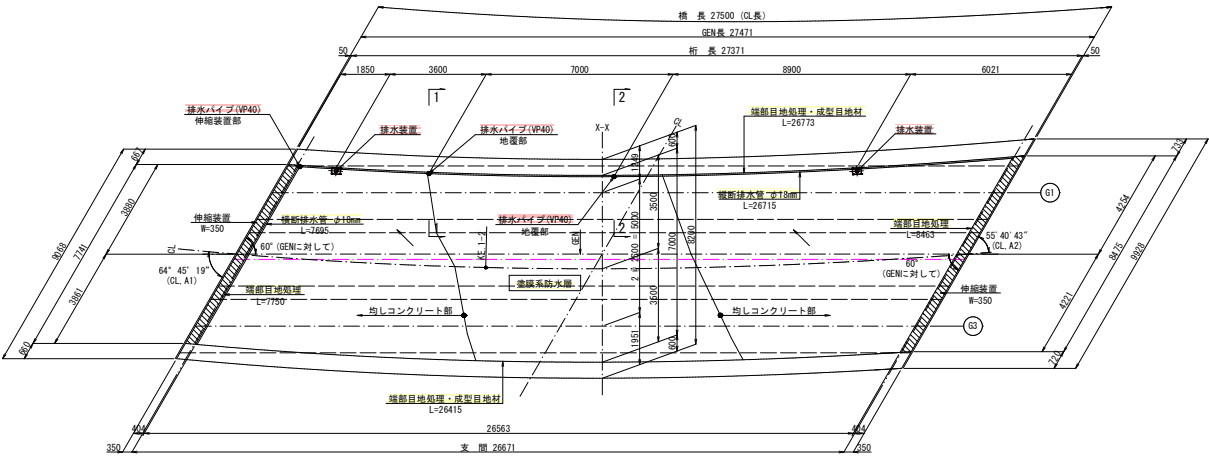
✧

実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	道路整備(交付金)工事(浦田R0-1工区)
河川・ 路 線 名	一般県道 東郷山田宮之城線
工事箇所	薩摩川内市 東郷町 斧刈 内地
図面種類	排水工詳細図
縮 尺	図 示
図面番号	全 24 葉 第 18 号

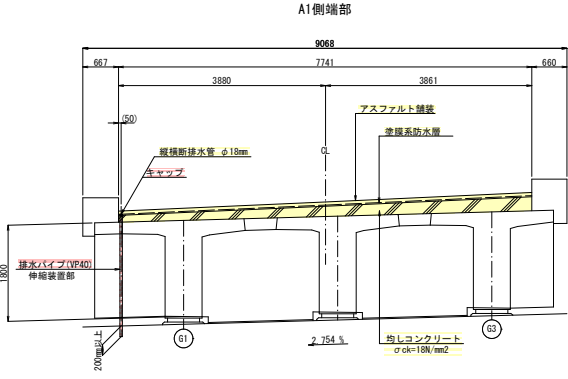
防水工詳細図

平面図 S=1:100

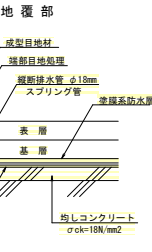
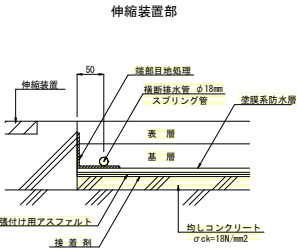


注) 排水装置部では、縦断排水管(φ18mm)を排水樹に引込み排水させること。

断面図 S=1:50

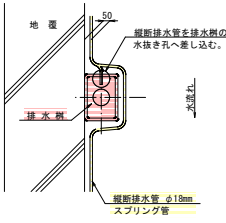


塗膜系防水層詳細図



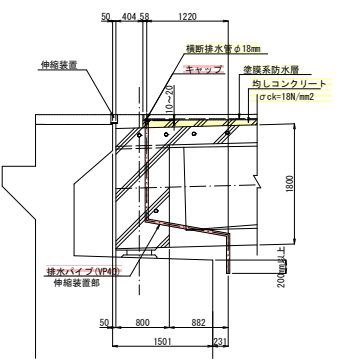
排水管配置図

(排水樹部)

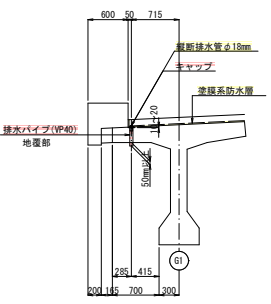


排水パイプ取付図 S=1:40

伸縮装置部側面図

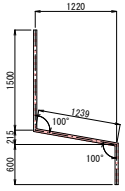


地覆部断面図 1-1



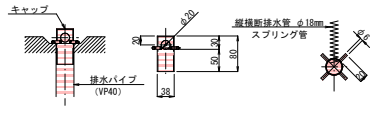
排水パイプ加工図 S=1:40

伸縮装置部 N=1, L=3340
地覆部 N=2, L=300



キャップ詳細図 S=1:6

溶融亜鉛メッキ HDZT49 以上



注) 縦断排水管φ18(スプリング管)の表面処理は、溶融亜鉛メッキ(HDZT49)と同等品以上とする。
また、縦断排水管の継手の重ね幅は、5cm以上とする。

防水工材料表

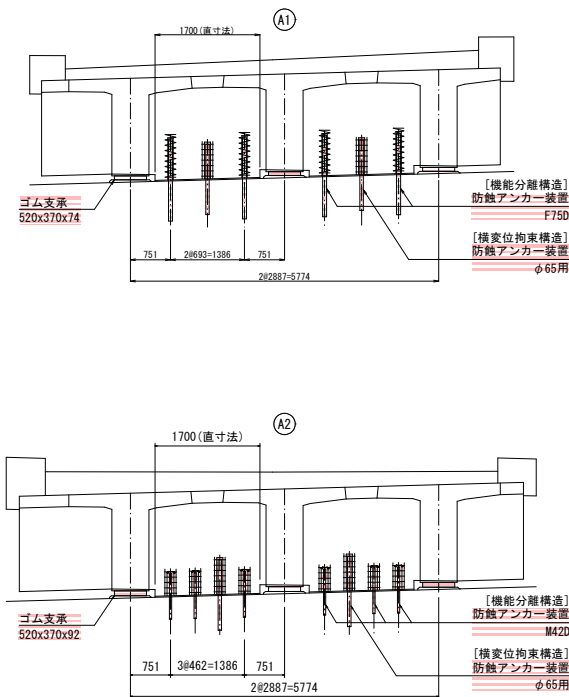
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
防 水 層	塗膜系	m ²	186.238	
縦断排水管	スプリング管 φ18mm	m	26.72	溶融亜鉛メッキ (HDZT49)
縦断排水管	スプリング管 φ18mm	m	7.70	と同等品以上
成型目地材		m	53.19	
排水パイプ	伸縮装置部 (VP40)	本	1	曲 管 L=3340
地 覆 部 (VP40)		m	0.60	直 管 N=2 L= 300
キャップ		個	3	溶融亜鉛メッキ仕様

実施設計図

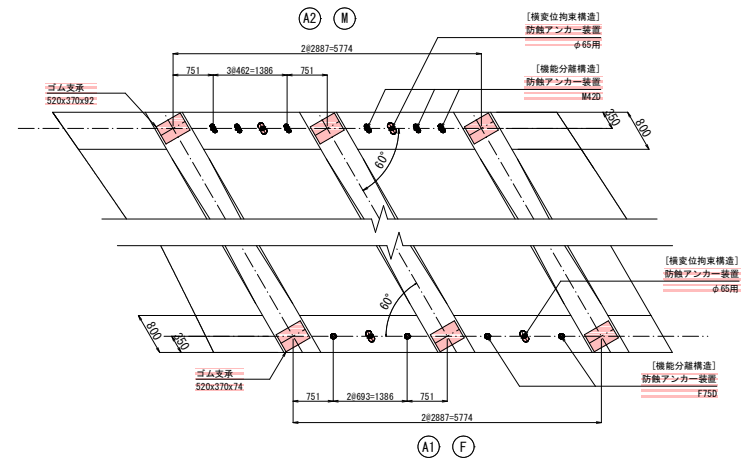
鹿 児 島 県	
工 事 名	道路整備(交付金)工事(浦田R8-1工区)
河 川 名	一般県道 東郷山田宮之城線
路 線	薩摩川内市 東郷町 斧洲 地内
工事箇所	
図面種類	防水工詳細図
縮 尺	図 示
図面番号	全 24 葉 第 19 号

支 承 詳 細 図 (その1)

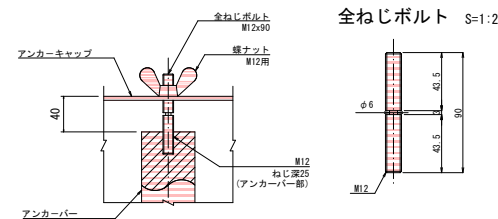
断面图 S=1:50



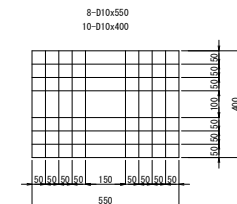
平面图 S=1:50



位置決めボルト詳細図 S=1:3



補強鉄筋 S=1:10

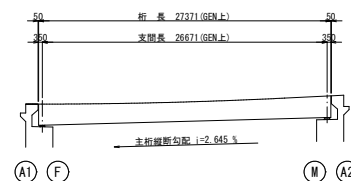


材料表 (機能分離型)

名 称	寸 法	材 質	単位	数 量		備 考
				A1(F)	A2(U)	
ゴム支承	520x370x74	図 示	枚	3	3	GR 60t, 0 滑動防止一式含む
"	520x370x92	"	"	3	3	"
防熱アンカー装置	F70(L=1520)	SS304 SS400 金成モルタル S2035	組	4	4	機能分棟構造 SBR12, SBRのつき
"	M420(L=860)	SS304 # 7149又はFRP 金成モルタル S245	組	6	6	機能分棟構造 SBR12
防熱アンカー装置	φ65用(L=1320)	SS304 SS400 金成モルタル S245	組	2	2	機能分棟構造 SBR12, SBRのつき
防 熱 材	□200x20	保スポンジ	枚	4	4	40/バッキン
"	150x250x20	"	"	6	6	"
"	200x300x20	"	"	2	2	"
補強鉄筋	D10x50x50	S0345	kg	14.11	14.11	28.22
容座モルタル		無収縮モルタル	m3	0.078	0.078	0.156
アンカー孔モルタル		無収縮モルタル	m3	0.196	0.094	0.290
エラストイド	t=10		m2	2.720	2.720	5.440
発泡スチロール	t=10		m2	2.720	2.720	5.440
アイボルト	M12用		本	4	4	8
			"	3	4	7

※施工用アイボルト数量は、1支承線当り半数分を計上しているため、適宜流用すること
※ゴム支承はH30年便覧に準拠

位置图 S=1:250

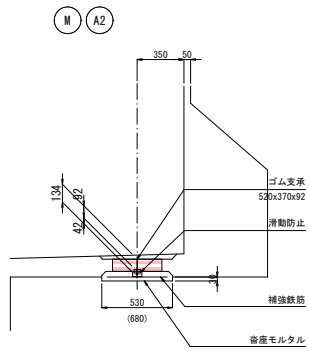
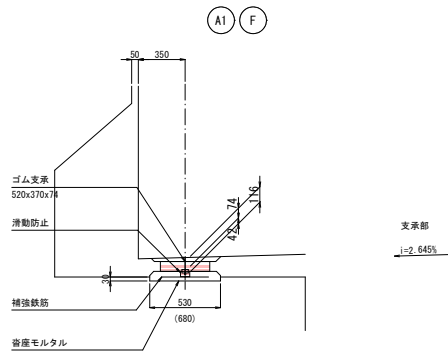


実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	道路整備(交付金)工事(浦田R8-1工区)
河川・ 路線 名	一般県道 東郷山田宮之城線
工事箇所	薩摩川内市 東郷町 斧渕 内地
図面種類	支承詳細図(その１)
縮 尺	図 示
図面番号	全 24 葉 第 20 号

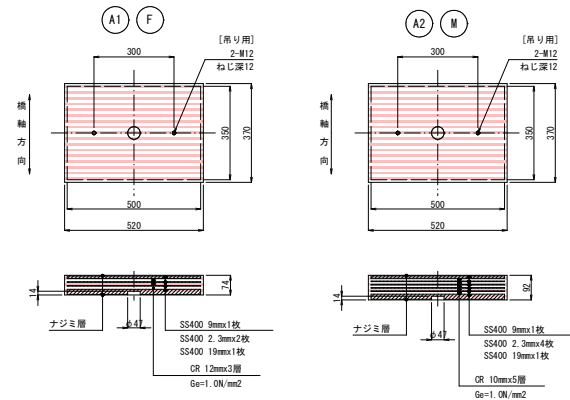
支 承 詳 細 図 (その2)

側 面 図 S=1:20

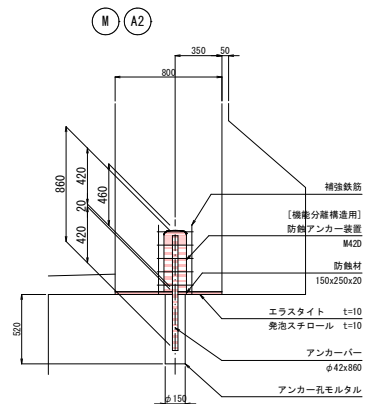
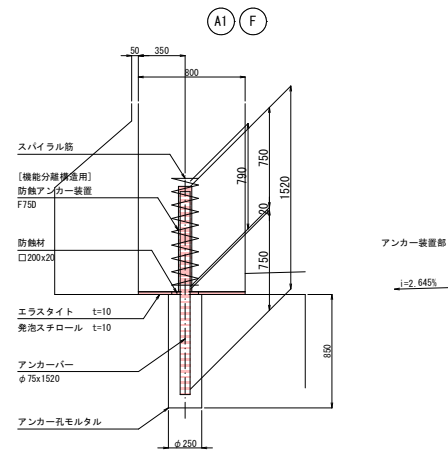
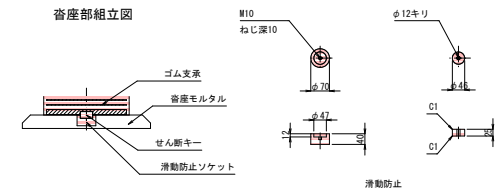


※()内寸法は橋軸直角方向寸法を示す。

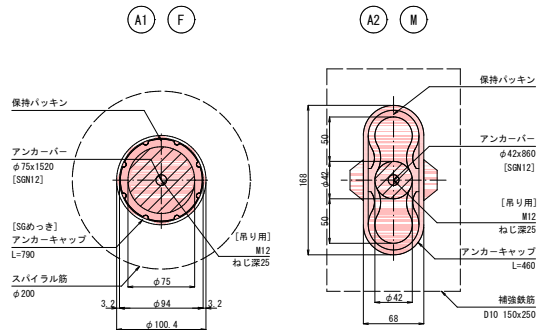
ゴム支承 S=1:10



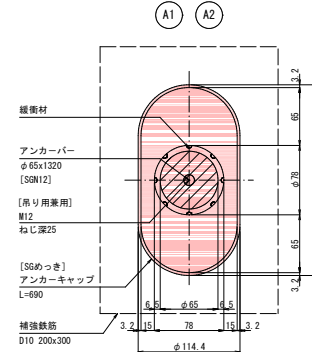
脊座部組立図



機能分離固定装置 S=1:3



橫變位拘束構造 S=1:3

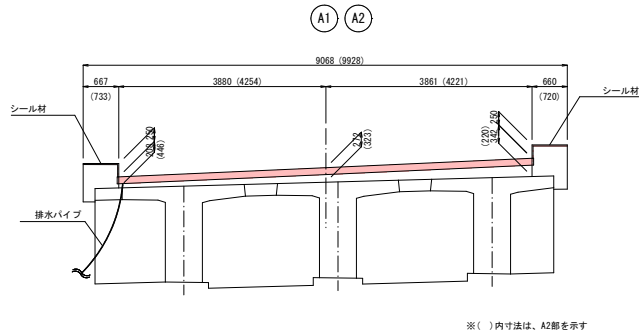


実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	道路整備(交付金)工事(浦田R8-1工区)
標 識 名	一般県道 東郷山田宮之城線
工事箇所	薩摩川内市 東郷町 斧淵 地内
図面種類	支承詳細図(その2)
縮 尺	図 示
図面番号	全 24 葉 第 21 号

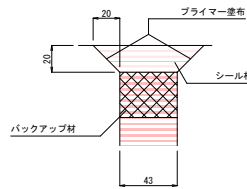
伸縮継手詳細図

断面図 S=1:50

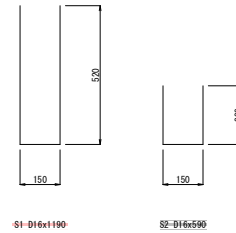


※（ ）内寸法は、A2部を示す

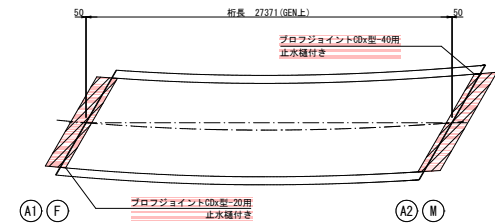
シール材充填図 S=1:2



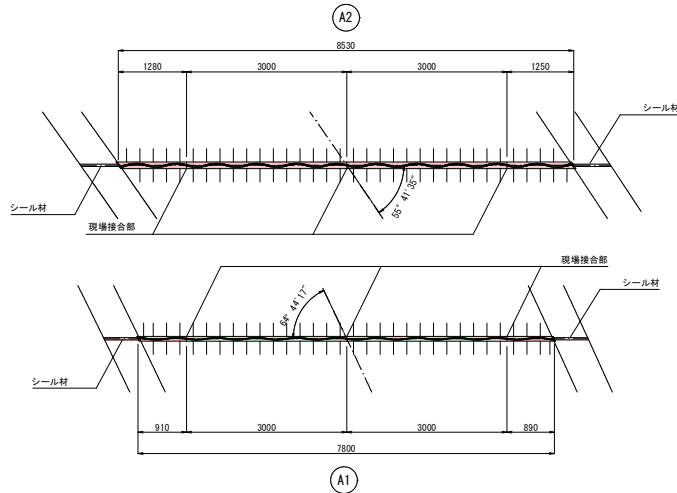
鉄筋加工図 S=1:10



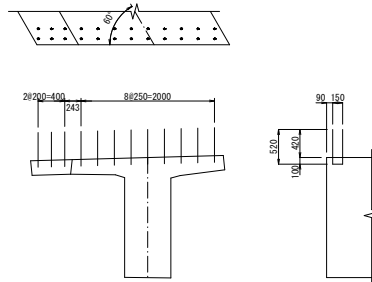
配置図 S=1:200



平面図 S=1:50

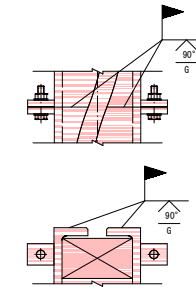


アンカー筋埋設図 S=1:30



現場接合部詳細

プロフジョイントCDx型



伸縮継手材料表

名 称	材 質	A1数量	A2数量	合計数量	備 考
プロフジョイントCDx型-20用	S5800 金型ゴム S5815 弾性シール材	7.800 m		7.800 m	車道用、種付き
プロフジョイントCDx型-40用	S5800 金型ゴム S5815 弾性シール材		8.530 m	8.530 m	車道用、種付き
シール材	シリコン系	2.302 L	2.461 L	4.763 L	
バックアップ材		1.827 m	1.953 m	3.780 m	
接打ちコンクリート		1.902 m ³	2.246 m ³	4.148 m ³	
通 し 筋	SD345	8 本		8 本	D16x7800
通 し 筋	SD345		8 本	8 本	D16x8530
CDx型用接着剤		1 式		1 式	20用
CDx型用接着剤			1 式	1 式	40用
排水パイプ	ステンレス	1 本	1 本	2 本	15Ax5000

※排水パイプ長は、現地測量の上決定すること。

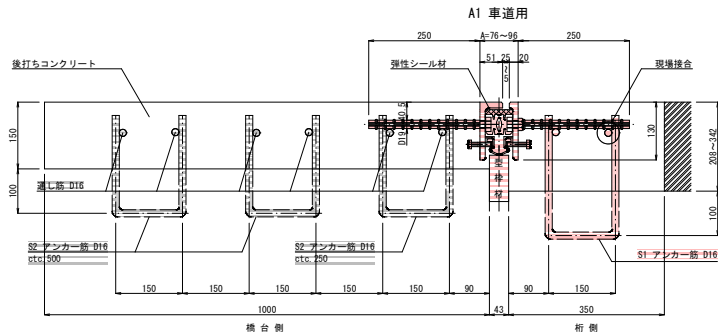
アンカー鉄筋表

寸 法	A1数量	A2数量	合計数量	合計重量	備 考
D16x190	31 本	35 本	66 本	123 kg	S1-アンカー筋（上部工側）
D16x590	63 本	67 本	130 本	120 kg	S2-アンカー筋（下部工側）

伸縮継手断面図

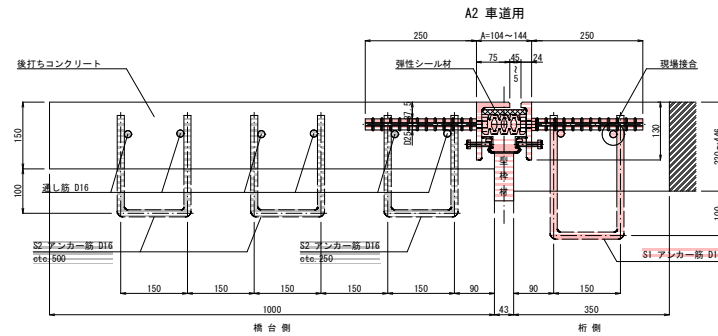
S=1:6

プロフジョイントCDx型-20用（止水種付き）



※A寸法は、施工時に決定

プロフジョイントCDx型-40用（止水種付き）



※A寸法は、施工時に決定

実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	道路整備（交付金）工事（浦田R8-1工区）
河 川 名	一般県道 東郷山田宮之城線
工事箇所	薩摩川内市 東郷町 斧洲 地内
図面種類	伸縮継手詳細図
縮 尺	図 示
図面番号	全 24 葉 第 22 号

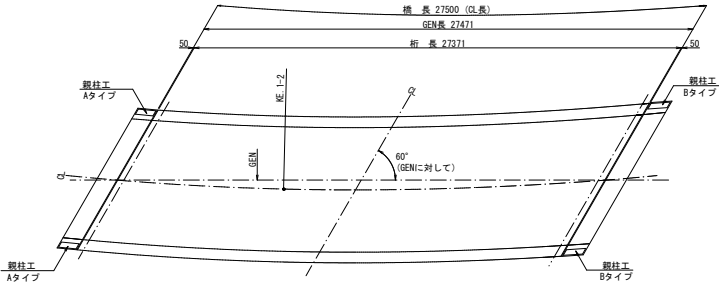
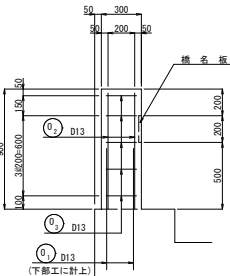
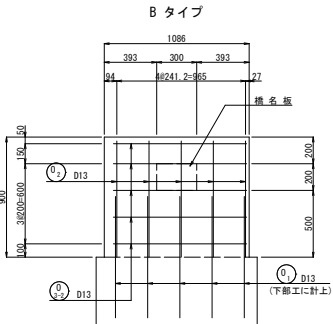
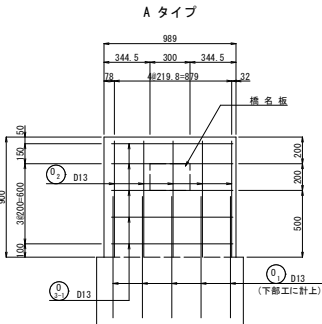
親柱工配筋図

親柱配筋図 S=1:20

側面図

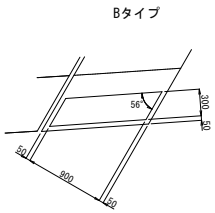
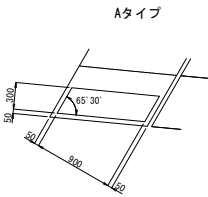
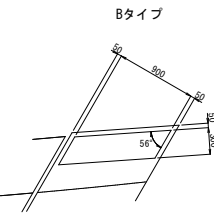
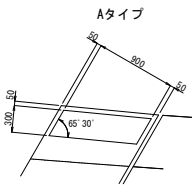
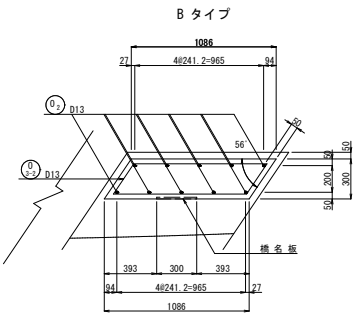
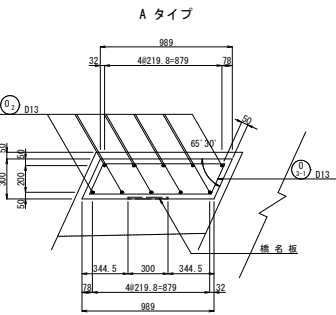
正面図

平面図 S=1:150

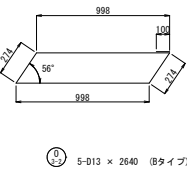
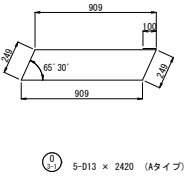
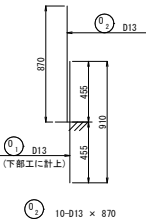
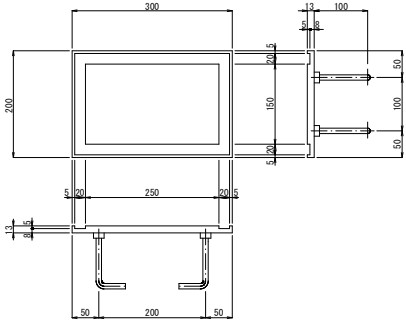


平面図

親柱工平面配置図 S=1:30



橋名板 S=1:5
(ブロンズ製)



鉄筋表

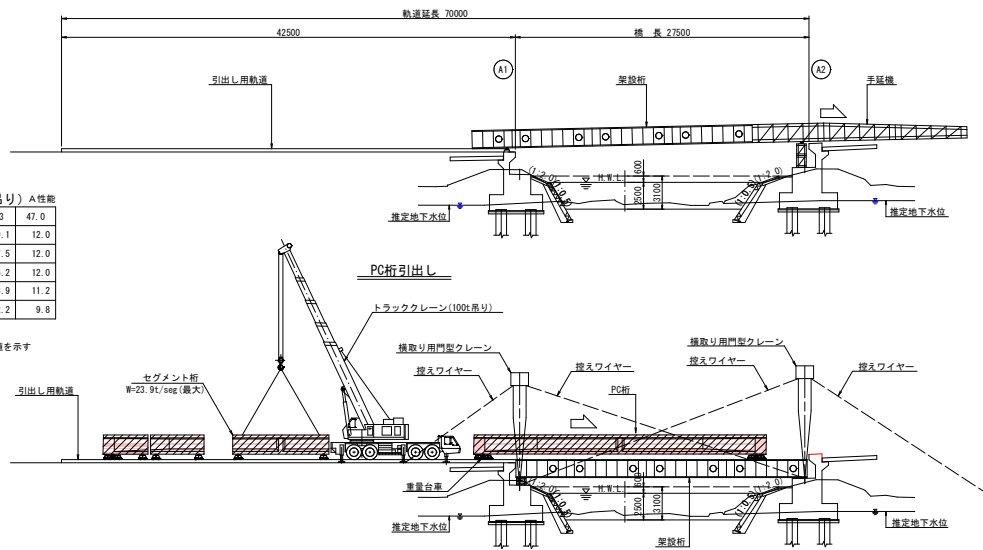
記号	径	長さ	本数	単位質量	1本当り質量	質量	換要
A タイプ N=2							
0 2	D13	870	10	0.995	0.87	9	
0 3-1	D13	2420	5	0.995	2.41	12	
SD345 D13							21 kg
B タイプ N=2							
0 2	D13	870	10	0.995	0.87	9	
0 3-2	D13	2640	5	0.995	2.63	13	
SD345 D13							22 kg

実施設計図

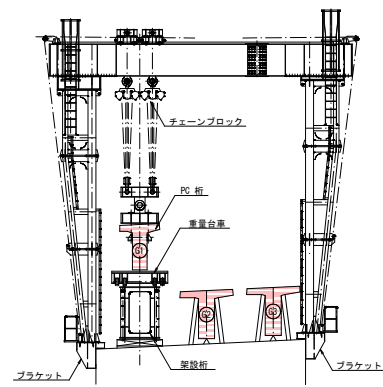
鹿児島県	
工事名	道路整備(交付金)工事(浦田R8-1工区)
河川名	一般県道 東郷山田宮之城線
工事箇所	薩摩川内市 東郷町 斧洲 地内
図面種類	親柱工配筋図
縮尺	図示
図面番号	全 24 葉 第 23 号

架 設 参 考 図

側 面 図 S=1:250
架設桁引出し



門型クレーン参考図 S=1:100



架設要領

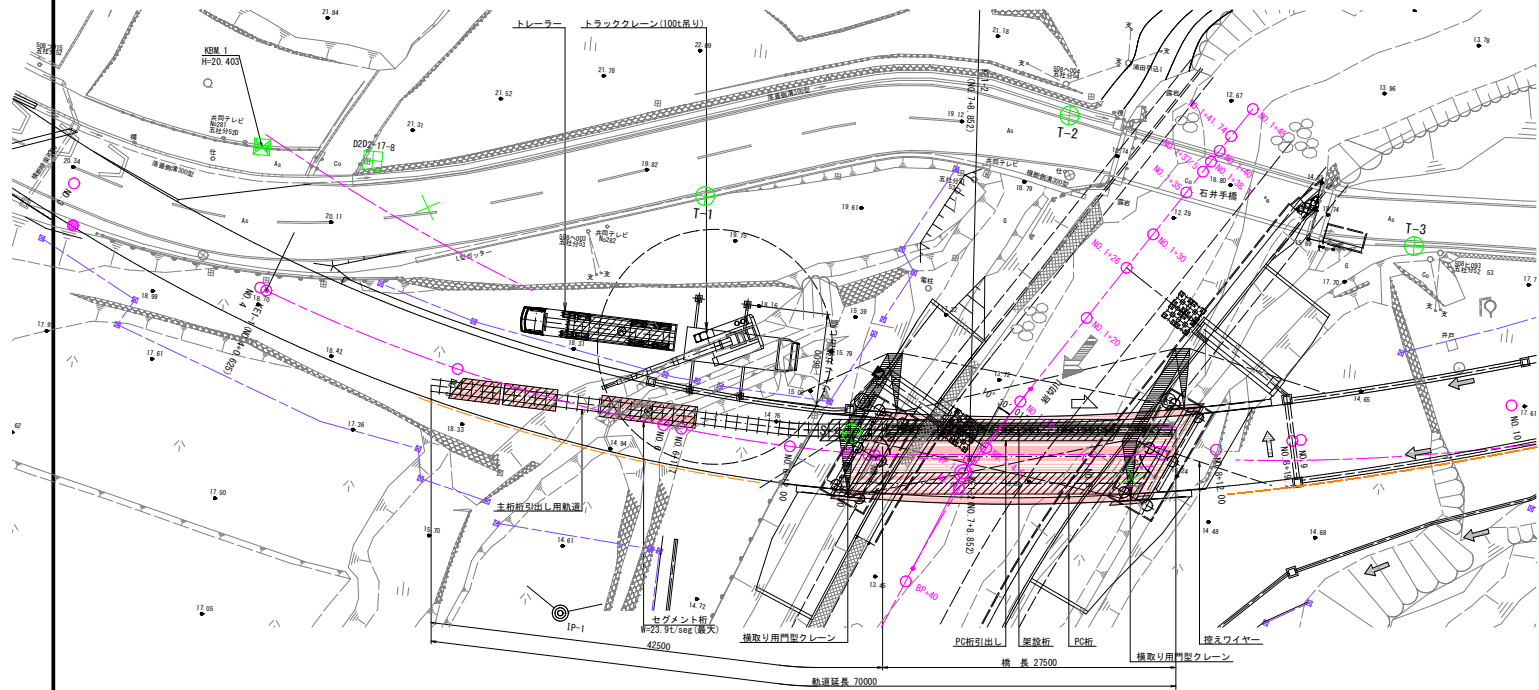
- 1組の架設桁（エレクションガーダー）を所定の位置に据付け、支持桁として架設するものとする。
A1橋台背面部に引出し用軌道を設置しその上で架設桁を組立て、引出し用ウィンチにて所定の位置まで引出す。
- 2) A1橋台、A2橋台上に各々1基の門型の掘取り用門型クレーンを組立て、掘えワイヤーにて固定する。
- 3) 門型クレーンにて架設桁を所定の位置に据付ける。
- 4) PC桁を、ウィンチにて所定の位置まで引き出す。
- 5) 門型クレーン及び掘取り装置により主桁を吊り上げ、横移動し所定の位置に据付ける。
- 6) 主桁架設完了後、架設桁および門型クレーンを解体、撤出し、架設作業を終了する。

油圧式トラッククレーン能力表（100t吊り）△性能

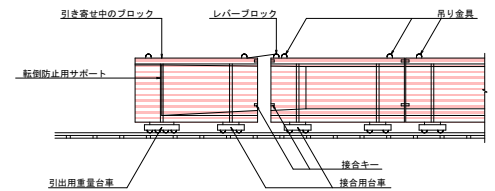
伸長(m)	12.0	16.4	20.75	29.50	38.3	47.0
伸縮長さ(m)	10.0	28.5	28.5	22.4	19.1	12.0
吊り重量(t)	11.0	25.1	25.1	20.5	17.5	12.0
吊り重量(kN)	12.0	22.3	22.3	18.9	16.2	12.0
吊り重量(t)	14.0	17.6	16.3	13.9	11.2	
吊り重量(kN)	16.0	13.5	14.1	12.2	9.8	

※ 荷重 = PC桁重量 + フックその他吊具重量
※ クレーンの能力は、フックその他吊具重量を含んだ値を示す

平 面 図 S=1:250



主桁セグメント組立図



セグメント組立要領

- 1) 台車上の主桁ブロックを各々5cm程度まで引き寄せ、ブロック相互の端面、及び全ての接続キーが正確に一致するように、ジャナルジャッキ又は、油圧ジャッキ等で通り、段差の調整を行う。
 - 2) 調整後にPCケーブルを挿入し、接合面に接着剤を塗布する。
 - 3) 接着剤塗布後、全ての接続キーが十分噛み合うまで、各々の主桁ブロックをレバーブロックで引き寄せる。
 - 4) ブロック接着後、直ちにPCケーブルの緊張を行い、接着剤の硬化後、グラウトを注入する。
- 注) PC鋼材の挿入は接着剤塗布の後に行う場合もある。

実施設計図

鹿 児 島 県	
工 事 名	道路整備(交付金)工事(浦田R8-1工区)
河 川 名	一般県道 東郷山田宮之城線
工事箇所	薩摩川内市 東郷町 斧洲 地内
図面種類	架設参考図
縮 尺	図 示
図面番号	全 24 葉 第 24 号